スマイルニュース

SMILE NEWS

男女共同参画推進委員会

＃239

私の思い込み

先日、同年代の友人たちと食事会をしたときのことです。たまたま同じテーブルには子育て真っ最中のメンバーが集まり、自然と育児の話題になりました。

その中で、二人の子どもを育てる男性がこんなことを言っていました。

「上の子が風邪をひいた時、前から予定していた飲み会に行こうとしたら妻に嫌な顔をされた。自分が家にいても風邪が治るわけじゃないし、行ってもいいと思うんだけど」

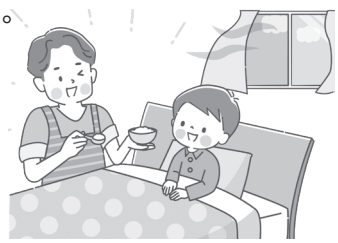
これを聞いた周りの女性たちは、「これだから男は」という表情になり、「夜中に急に病院へ行くことになったら？」「下の子の世話は誰がするの？」「看病で手が離せない奥さんのご飯はどうするの？」と一斉に指摘しました。

私も深く頷いていましたが、その時、同じテーブルにいた別の男性がこう言ったのです。

「子どもが体調不良の時に、自分一人で看病するのって不安じゃない？ だから僕は一緒にいてほしいな」

その言葉に、私はハッとしました。どこかで「父親は育児を分かっていない」と、男性に対して偏った思い込みを持っていた自分に気づいたのです。

育児の不安に寄り添うことや、パートナーを思いやる気持ちは、「男女」や「父母」といった性別や役割で決まるものではありません。相手の立場を想像し、無意識の決めつけをなくしていくこと。そんな日常の小さな気づきが、誰もが生きやすい男女共同参画社会への第一歩になるのだと感じました。



【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
（総務課総務担当内）☎ 62-3117